

## 成果の説明書

(氏名) 坪井 明彦	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 研究活動：</p> <p>編著者：石川和男（専修大学）、佐々木茂（東洋大学）、石原慎士（宮城学院女子大学） 『入門・マーケティングの核心』同友館、「4章 マーケティング戦略」の執筆。（2020年発行予定）</p> <p>(2) 教育活動</p> <p>①演習において、正規の授業以外にPBL（Project Based Learning）として、（株）永井酒造から2つの課題を提示してもらい、学生が調査・提案を行った。</p> <p>②高崎信用金庫主催の「たかしんビジネスプラン・コンテスト2019」に応募・出場するゼミの学生（2年生）の指導を行い、1グループが本選出場を果たした。</p> <p>(3) 学会活動</p> <p>①日本ビジネス実務学会における活動 日本ビジネス実務学常任理事として、日本ビジネス実務学会の運営に尽力した。 第38回全国大会（2019年6月1・2日）の事務局長として、企画・準備・実施に尽力した。</p> <p>②日本地域政策学会における活動 事務局長（理事）として、学会運営のために尽力した。 2019年6月開催の全国研究大会（会場：高崎経済大学）の実行委員として、その企画・準備・実施に尽力した。</p> <p>③地域活性学会における活動 副編集委員長（理事）として、学会誌『地域活性研究』Vol.11の発行のための審査に尽力した。編集委員として、『地域活性研究』Vol.12の発行のための審査に尽力した。</p> <p>④日本経営診断学会における活動 本部幹事として、学会運営のために尽力した。</p> <p>(4) 学内業務 教務担当学部長補佐（教務委員長）として、地域政策学部における教務事項の統括、教務委員会の準備・運営のために、尽力した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>① 一元化科目運営委員長として、一元化科目の運営のために尽力した。</p> <p>② カリキュラム改革ワーキンググループのメンバーとして、カリキュラム改革について検討した。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>2020年度においても、ゼミ活動を通じたPBLに取り組むことと地域活性化に貢献するような教育・研究に取り組んでいきたい。</p> <p>具体的には、昨年度の引き続き、3年生の正課外の活動として群馬県内の酒造会社と協働し、PBLの課題を設定し、その課題に取り組む中で地域貢献を果たすと共に学生の社会人基礎力と呼ばれるような様々な能力の向上を目指していく。</p>	

また、正課外の活動として、2年生に対しては、昨年度に引き続き「たかしんビジネスプラン・コンテスト2020」への応募・出場のための指導を行っていく。

また、教務委員長として学部運営に対して引き続き責任を果たすべく尽力したい。